

COULEUR



めぐる、めぐりあう
ボクたちの文化。



CONTENTS

ECO に進化！ 変わりゆくお菓子のパッケージ		42
・ 亀田製菓 42	・ カルビー 45	
物運びロボットの世界		46
・ USEN に潜入!! 二つの配膳ロボットに迫る	46	
・ 家庭用自律型移動ロボット Kachaka (カチャカ)	48	
・ 茶運び人形	49	
時代の変化とともに... 化粧 (メイク) の変遷		50
・ 平成の時代を彩ったメイク	50	
・ ヤマンバメイクの作り方	52	
・ 韓国アイドル風メイク おさえるべきポイント 8選	53	
「盛れ」は進化する！ プリントシール機の歴史		54
・ 人気の最新プリ機 TOP3	55	
茨城県自然博物館にある恐竜の展示の魅力とは？		56
・ 茨城県自然博物館	56	
誰もが懐かしい気持ちになれる場所へ		58
・ 昭和レトロ商品博物館	58	
国の有形文化財を映画館「シネマネコ」へリニューアル！		60
・ シネマネコ	60	

タイトルの Couleur って？

Couleur (クルール) は、フランス語で「色」という意味。

過去から今にかけて形を変えてきたもの、それらが彩ってきたのは、人々の生活や生きてきた時代であると思うことから命名。



現代によみがえる日本の伝統文化		04
・ はじめに	04	
・ 陶芸教室、雛人形	08	
・ 生け花	06	04
・ 浮世絵	10	
デザインにこだわったおみくじ 色鮮やかな御朱印		12
・ ほしいも神社	14	
・ 櫻木神社	16	
・ 鳩森八幡神社	15	
・ 烏森神社、菊田神社	17	
日本のお祭りが生き残るためにできること		18
・ オマツリジャパン	20	
・ 新宿カブキ hall	21	
ガチャガチャで広がるコミュニティ!!		22
・ 市川まちガチャ	22	
・ ガチャトレ	25	
・ ガチャガチャの歴史	27	
・ 地産ガチャ	24	
・ ハピタベ	26	
どんな子どもでもワクワクできる公園に！		28
・ インクルーシブ遊具が当たり前になる未来へ	30	
ご飯のむかしといま		32
・ 水海道風土博物館	32	
・ 炊飯器のイロイロ	34	
思い出は残り続ける 情緒あふれる古民家カフェ		36
・ 城藤茶店	36	
・ コハレキッチン	38	
身近にある食品サンプルの変化が面白い		40
・ 元祖食品サンプル屋	40	



JAPANESE CULTURE revived in MODERN TIMES

日本の伝統的な文化である「生け花」「陶芸」「雛人形」「浮世絵」。それらは時間を経て変化し、現代においても新たな魅力を生み出し続けている。今回は、そのシン・スタイルをともに見ていこう。



No.1 シン・「生け花」

“空間”と“花”が生み出す、調和した新しい生け花。

生 け花というと、少し固い印象を持つ人も少なくはないのかもしれない。しかし、現代の生け花はともて独自の自由だ。和室や床の間が減ってきている現代において、フリースタイルな現代華が根付いてきている。その特徴は、何と言っても自由なことだ。「古流かたばみ会」の副家元・大塚理航さんは、フリースタイルについて、「生け花のエッセンス、どうやって植物を生かすのか」といった基礎的な知識だけ最初に教えますが、『糸と植物』『おもちゃと植物』だとして

Thema
Snow core



も、基本的には植物を生かすことができれば何をしてもいい！自分ではそう思っています」と教えてくれた。正面から限定で見られることを前提に生けられる古典的な生け花に対して、現代華では全体的に花を生けるため、いろいろな方向から花を楽しむことができる。これは現代の家の間取りにマッチし、空間を彩る一つの要素になる。空間と生け花について大塚さんは、「調和が一つのキーワードになっていると思っています

ます。花にも合う花、合わない花というのがもちろんあって、小さい作品においてもそれが調和することによって一つのきれいな作品が生まれる。空間という場所においても一緒に、独りよがりになってしまうとその空間をつぶしてしまうので、あくまでも調和を意識しています」と語った。空間装飾として、新たな可能性を見せる生け花。家に帰ると、調和した華やかな部屋が迎えてくれる生活に憧れる。さあ、花を生けに行こう。

Thema
Dreaming soul



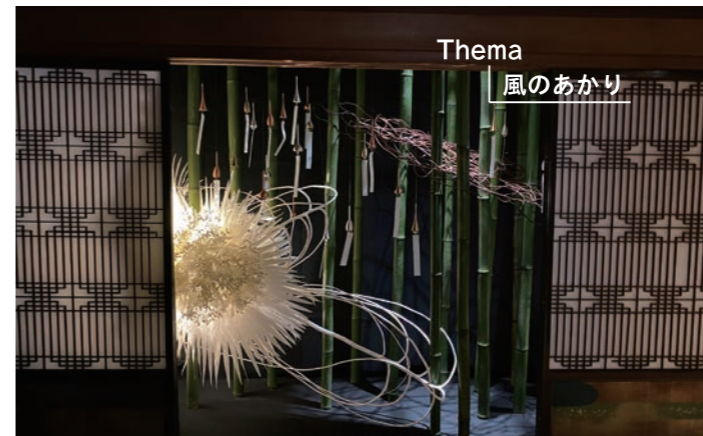
By
横浜山手生芸術祭

～現代に生きる花「現代華」の可能性～

大塚理航

周 りからどんどんと自然がなくなってきている現代。都心部においては、その流れは顕著に表れてきている。古来より植物と非常に近い距離にあった日本人。植物を神聖化させ、植物と共存する価値観から、生け花が日本独自の文化に発展していった。どんどんと日常から自然がなくなってきている現代社会。自然と触れあい、四季を感じ、非日常を感じ、そして自分自身と向き合い見つめなおす。せわしなく生き、余裕がなくなっている現代人にとって、生け花は多くの魅力と可能性にあふれている。

Thema
風のあかり



おおつか りこう (35) | 「古流かたばみ会」副家元。1991年東京都生まれ。古流九世家元・大塚理事に師事。「全日本いけばなコンクール」では、最優秀新人賞や優秀賞などを受賞。InstagramやYouTubeなどでの発信にも力を入れており、さまざまな作品をSNSを通じて発信している。新しい生け花像を創造する若手華道家。池袋本部教室 | 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 4-21-1 アウルタワー 303



No.3 鈴木人形店



現代風雛人形「BELL'S KISS SERIES」。



近くで見るとそのまつげの長さに驚かされる。



雛人形のイメージがひっくり返る。

すずき けいしょう (43) | 大学院卒業後、社会人生活を経て、伝統工芸士・鈴木晃隆に師事。大学生のころから構想を持ち、現代風雛人形「BELL'S KISS SERIES」を作りあげる。伝統を守りながらも、新たな雛人形像を作り出す。
鈴木人形店
〒339-0057
埼玉県さいたま市岩槻区本町 3-11-3



シン・「雛人形」

～新たなお雛様の魅力～

長く巻き上がったつけまつげ、デフォルメされた大きな目、ぼってりとした唇。これだけ聞くと、芸人やキャバクラ嬢のメイクについての描写だと思うだろう。じつはこれ、雛人形の顔の描写なのだ。

雛人形というと多くの人は、雛祭りの際に出される昔ながらの装いで、日本人らしい純和風の顔をしたものを想像するのではないだろうか。そんな人たちに、ぜひ知ってもらいたいのが、現代風雛人形の魅力だ。

従 来の雛人形と一線を画すポイントは、何といても顔のデザインであろう。雛人形とはほど遠い、ぼつちりとした目や、流行を意識したメイクなど、創意工夫を随所に見ることが出来る。職人でもある鈴木人形店の三代目・鈴木慶章さんは、「今までのお人形とは一線を画す雰囲気をあえて作っているカテゴリの製品になりますので、見る人を驚かせたいという思いがありますね。奇抜すぎても、かわいすぎても、なんでもないので、とにかく驚いてもらいたい。いままでのお雛様のイメージになかった印象を持ってもらいたいと思っています」と話す。

とした装飾を使うなどウエディングドレスを意識しており、一際目を引く。また、メイクもファッション誌などを読み漁り、流行っているメイクなどをリサーチすることで、毎年アップデートを重ねている。

これからの雛人形について、「雛人形というとしても季節性があって、お節句の時期以外にはしるものが普通の感覚だと思えます。現代風雛人形に関しては、一部ですがお節句とは関係なく飾られている方もいて、レストランや結婚式場にも飾られています。季節関係なくいつでも飾ってもらい、長い期間見ても見える方向に行けばいいなと思っています」と鈴木さんは語ってくれた。

日常のパートナーになってくれそうな現代風雛人形たち。生活を彩ること間違いないだ。

No.2 CIRCOLO

シン・「陶芸教室」



白を基調にしたデザイン。



陶芸の様子。



まつしま さらん | 大学卒業後、社会人生活を経て、2021年7月、東京都世田谷区等々に、陶芸教室チルコロをオープン。従来のイメージとは違う、解放感あふれる陶芸教室をデザイン。2023年6月に駒沢店、同年9月にはスタジオチルコロ等々カ店を新たにオープンし、大人から子どもまで幅広い世代から支持を集める。
陶芸教室チルコロ 等々カ店
〒158-0082 東京都世田谷区等々カ 4-18-12-101

～空間を器で彩る～

白い空間に映える青い器。陶芸が主役になるように、この空間は作り出されている。従来の陶芸教室で見慣れた材料と器で埋め尽くされた圧迫感のある雑多な風景は、チルコロでは見ることではない。大きな窓から目に入る青い空と日差し、吹き抜ける風、一面に広がるシンプルな白い空間。これまでにはなかった、解放感あふれる新しい陶芸教室の形がここにある。

陶

芸教室チルコロ代表の松島沙蘭さんは、空間づくりについて、「完成品を手元に持つのと同じくらい、陶芸を作る、体験する時間をすごく重要視していて、両方ともあって一つの良い体験になってくるんです。ただ器がきれいなだけじゃなくて、匂いとかを嗅いだときに器を作ったあの時の雰囲気を感じたいと思ったりするじゃないですか。その感覚が、現実にいるように感じないような感じです。その雰囲気がすごく素敵だなと思うんです。思いをはせることができる、そんな感じで」と語る。

思いをはせることができる空間を作り出すために、チルコロには松島さん独自の工夫が込められている。「市販されている器を見たとき、白い空間を見たとき、気持ち良い空間に行ったときにチルコロを思い出す。なにかしらチルコロと結びつけることのできるポイント、教室内に散りばめることのできたらいいなと思います」。

「人生の日々のなかで前向きな気持ちというものが好きだったよなという気づきがあり、一人一人に起こっているとすごくいいなと思います。作品が手元に届いてからも、作品を見るたびに記憶がよみがえってきて、忘れないでおこうという気持ちになってほしいです。日々の暮らしのなかでそういう瞬間がどれだけ訪れるかによって、その人の人生も変わると思うんですよ。本当に自分が大事だと思うことを、忙しいからそんなことを考えている暇ないしみたいな感じで忘れてしまっている。その本来忘れちゃいけないことを思い出すきっかけになる場所。そういう場所にチルコロがあればいいなと思います」と、松島さんはチルコロが持つ力と期待を語ってくれた。

陶芸の持つ力、空間の持つ力、そしてチルコロの持つ力、ぜひ一度、実際に体験してほしい。

No.4 シン・「浮世絵」

どこか懐かしくも、新しい、浮世絵の世界。



Title
夢現遊覧病寫

浮世絵の様式美とは何なのか。その特徴は大胆さと緻密さを兼ね備えていることだろう。現代浮世絵師である石川真澄さんは、「浮世絵特有の指の形、顔の線、唇の形、髪の毛の生え際などの緻密な表現と、黒髪や黒い漆などの無機質なものは黒でベタ塗りをする大胆な表現が入り混じっている独特の表現法が特徴であり魅力。そういった様式美をわかりやすく見せることを意識している」と自身が考える浮世絵の様式美について語った。

江戸時代、浮世絵はおもに庶民にとって身近な題材で描かれた。しかし、現代においてその役割は各種メディアが果たすようになり、浮世絵は姿を消していった。

石川さんが描く浮世絵作品は、かつてとは異なるアプローチで描かれている。「絵を描き始めたころから根底にあるのが、自分の心象風景を描き出すこと。心象風景を浮世絵の様式を使って表現することが僕のやり方。今に生きる自分が、何をどのようにインプットして現代の感覚として出せるのか。単に和を表現するのではなく、あくまでも自分が表現したいことを浮世絵の様式美で表すことにこだわっている」と自身の浮世絵について語った。

現代に描かれた浮世絵は、役割と姿を変え、自身のイメージを表現するものへと変わった。それを退化か、進化か、と問うのは愚問だろう。作品を見れば、その怪しくも美しい絵に引き込まれること間違いなしだ。

©KONJAKU Labo.

～浮世絵をとおして“現代”を描く～ 石川真澄



いしかわ ますみ (45) | 1978年東京生まれ。中学生のころから浮世絵に興味を持ちはじめ、大学生のころにテレビで六代目歌川豊国を知り、実際に会いに行き、数枚の絵を見てもらい師事することに。まもなく六代目が他界したため、独学で浮世絵を学び、試行錯誤の結果、現在のスタイルの原型を生み出し、今に至る。2015年にはロックバンド・KISSや映画『STARWARS』とのコラボレーション浮世絵が話題に。新たな浮世絵表現を見せる、注目のアーティスト。

江戸時代、それは町人文化が花開いた時代。日本の伝統文化となる多くのものが誕生し、庶民の生活を彩った。そんな時代に登場し、現代における新聞、雑誌、漫画の役割を担ったのが浮世絵だ。庶民の生活を写す鏡であり、流行を知る情報源であり、心の慰めとなる娯楽が浮世絵であった。江戸時代の町人文化の中心にあった浮世絵。皆さんは過去の遺物だと思っていないだろうか？ 浮世絵の様式を使って、21世紀に描かれる作品たち。懐かしさも新しさも感じる現代の浮世絵の世界を見てみよう。



Title
富嶽三十六景 心中聳然

©KONJAKU Labo.

Masumi Ishikawa 23